

恵庭かわまちづくりの取組が「全建賞」を授賞しました！

～事業連携や地域の活性化に効果をあげている点が評価されました～

この度、恵庭市と札幌開発建設部千歳川河川事務所が連携して整備を進めてきた「恵庭かわまちづくり事業」が、一般社団法人全日本建設技術協会から【令和4年度全建賞】を授賞しましたのでお知らせします。

「恵庭かわまちづくり事業」は、国道36号線と漁川が交差する場所にあたる道と川の駅周辺を「花の拠点」と位置づけ、道と川の駅「花ロードえにわ」のリニューアルのほか、恵庭市による「はなふる(都市公園)」整備とともに、民間事業者による新住宅団地の建設やPark-PFIを活用した飲食・宿泊施設の誘致などが進められてきました。本事業は、平成29年度に国土交通省の「かわまちづくり支援制度」へ計画が登録され、河川管理用通路や親水施設の整備を通じて漁川と公園や市街地との連続性を向上させるとともに、良好な水辺空間を創造し、観光地の魅力や居住環境の向上を図ったものです。

この度、本取組が評価され令和4年度全建賞の「異なる部門の事業が連携した取り組みの部」を授賞し一般社団法人全日本建設技術協会より表彰状と盾が授与されました。

なお、北海道開発局では令和5年6月12日に、恵庭かわまちづくり事業区域内の「恵庭市花の拠点かわゾーン地区」を河川敷地占用許可準則に基づく「都市・地域再生等利用区域」に指定しました。これにより、道と川の駅「花ロードえにわ」や「花の拠点はなふる」に隣接した漁川の河川空間の利活用が可能になり、新たな水辺のイベント空間として、更なる観光交流の促進、地域振興が期待されます（下記【参考】参照）。

【全建賞とは】 <https://www.zenken.com/hypusyou/hyousyou.html>

一般社団法人全日本建設技術協会により、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられた歴史ある賞です。

【かわまちづくり支援制度】 <https://www.mlit.go.jp/river/kankyoy/main/kankyoy/machizukuri/>

【参考】恵庭市花の拠点かわゾーン地区を「都市・地域再生等利用区域」に指定しました

<https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/release/e1lg9o00000eva8-att/e1lg9o00000fj8q.pdf>

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 千歳川河川事務所
副所長 稲澤 豊（電話番号 0123-24-1114）
特定治水事業対策官 松本 卓也（電話番号 0123-24-1114）



恵庭かわまちづくりの取組が「全建賞」を授賞しました！

・恵庭市の「ガーデンデザインプロジェクト」では職・住・観光機能拡充のため、道と川の駅周辺を「花の拠点」と位置づけ、市による「はなふる(都市公園)」整備とともに、民間事業者による新住宅団地の建設等が進められてきました。
 ・恵庭かわまちづくりは、これらの整備と連携し、河川管理用通路や親水施設の整備を通じて漁川と公園や市街地との連続性を向上させるとともに、良好な水辺空間を創造し、観光地の魅力や居住環境の向上を図ったものです。

全日本建設技術協会から表彰状と盾が贈られました



原田恵庭市長(左)、秩父千歳川河川事務所長(右)

【全建賞とは】

一般社団法人全日本建設技術協会により、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられた歴史ある賞です。昭和28年(1953年)の全建賞創設以来、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々々の国民ニーズに沿った幾多の取り組みに授賞がなされてきました。

恵庭かわまちづくり

花の拠点 (恵庭市)

道と川の駅後背地に、カフェ等を備えた「花の観光拠点」を整備

四季の季節感を出す花壇
 修景施設によるアートな空間の創出

新住宅団地 (民間事業)

省エネ・創エネに配慮したエコ住宅の整備

(イメージ) 散策路や植栽
 (イメージ) 地区計画や建築協定による景観や環境に配慮した住宅

連携イベント実施時の水辺の様子

かわゾーン (河川事業)

川は憩いと遊びと非日常的空間の場
 管理用通路の整備による漁川への連続性改善や、親水施設の整備による良好な水辺空間の創造